

杣

山

登山案内

南越前町

俗に城山と呼ばれるように、昔この杣（そま）山の山頂には城があつたそうだ。その城を修復する時に、杣人（きこりや山人足）を募集したところ、山が杣人で埋まる程の応募者があり、早く修復できたので、その後この山を杣山と呼ぶようになったそうだ。杣山城は北に切り立つた断崖をもち、周囲に日野川・田倉川が流れる天然の要塞の地であつた。金ヶ崎城落城の後、新田義貞がこの城に入城し、一時は南朝の根拠地となつた。

姫穴コース登山コース

武生から国道三六五号線を南進し、南条町役場を過ぎて二キロ程走り鯖波で左折する。日野川にかかる聖橋を渡り、北陸自動車道を潜り抜けて二キロ程進むと、阿久和集落の入口に第一登山口の案内板がある。更に八〇〇メートル程進んで集落の外れまで

登つてくる車道の終点にある中腹の駐車場に着く。姫穴コースはこのまま林道を少し進んで左手へ谷川を渡り杉林の中を進むと、保健保安林の看板が立ており舗装された登山道が続く。杉林を抜けてジグザグの階段を登り切り、小さな広場に着くと、休息出来るベンチが数個設けてある。さらに登つて行くと左側に便所があるがドア一等が破損している。右手の谷川沿いはキャンプ場になつていて、手荒れでいる。更に少し登ると休息所があり十字路になつて、この辺りは谷川の清流がいつとき心を和ませてくれ、緑の樹木が自然の美を堪能させてくれる場所だ。

ここで、この十字路から右手に進み中腹の駐車場へ行く道を説明します。十字路から右へ少し入った所に道標が立つていて、草の茂る時期には分りにくいと思う。道は清流の谷川を渡つて緩いづら折りに階段を混じえて登つて行くとピーコに出る。

一旦下つて、再び小さなジグザグの道と階段を登り詰めると、一五分位で中腹の駐車場に着く。ここには数台の車が止められる。

また、この十字路から左へ進むと、東御殿跡を経て山頂へと続く遊歩道である。

さて姫穴コースは、十字路をそのまま真すぐ登つて行く。暫く登り、目の前に大絶壁が迫つて来ると「東御殿へ近道」と書かれた道標が立つ分岐がある。この分岐から左へ登る道は岩屋不動尊コースである。右手の道を進むと、切り立つた岩壁に一人がようやく歩ける道があり、岩の割れ目から水が滴り落ちている。この岩壁に、新田義貞の夫人が難を逃れたために一時身を隠したといわれる姫穴がある。姫穴を過ぎ、針金が張つてある急な岩場を登つてジグザクの道を一〇分位登ると殿池に出る。かつては杣山城の飲料水になつていた池である。更に少し登ると尾根に出て、右手からくる文殊堂コースと出合う。ここから左手へ尾根伝いに緩く登つて行くと、堀切跡や杣山城落城の時に姫や侍女達が、岩に桂（うちぎ）を掛けて飛び降りた桂掛岩があり、一五分位で本丸跡の山頂に着く。標高四九二・一メートルの山頂の展望は周囲の樹木が繁つていて、所もあるが、まあある。

行くと、右手に第二登山口があり道路脇には石に彫られた案内板が立つていて、簡単には描かれているので、余り参考にならない。ここの大廣場の奥には休憩所や水場、便所が設置してあり、杣山城跡森林公園案内図の大きな案内板が立てられている。この山には登山道や遊歩道が多く、登山口も四つある。この第二登山口には広い駐車場もあり、メインコースになつていて、広場の右奥の舗装された道を七〇メートル程進むと、自転車道が横切る十字路に出る。右手に向うと第一登山道へ、左に行くと杣山荘横手に通じている。この辺り一帯の杉林はよく手入れされており、前方左手には一の城戸居館跡がある。又、十字路の右手前方にジグザグの登山道がある。ここを一五分位登ると文殊堂に着く。文殊堂の左手から更に赤松林の尾根道を登つて行くと、二五分位で第一登山口から

五スキーコースの白いゲレンデが見えていた。又、山頂の広場には、東御殿からの道、柚山荘のある第三登山口からの方の道、今庄町の社谷からの各登山道が合流している。その他、柚山城跡の石碑等がある。

参考コースタイム

第二登山口（歩25分）休息所のある十字路（歩25分）殿池（歩15分）山頂

97年12月
上り 1時間5分
下り 40分

岩屋不動尊コース



姫穴コースの休息所のある十字路から少し登った「東御殿跡へ近道」の道標から左手のジグザクの急坂を一五分位登ると、岩壁に大きな岩穴があり、この中に岩屋不動尊が祀られている。更に二〇分位急登を続けると、大きな松の老木がある東御殿跡の広場に出る。広場から左手に少し下ると、水場があるが雨の日以外は期待出来ない。広場から更に尾根伝いに一〇分程登ると山頂に着く。

姫穴コースタイム



第二登山口（歩25分）休息所のある十字路（歩25分）殿池（歩15分）山頂

97年12月
上り 1時間5分
下り 40分

置された展望の良い道を歩いていくと西御殿跡を経て姫穴コースと合流して山頂に向う。

参考コースタイム

97年4月

第二登山口（歩15分）文殊堂（歩25分）中腹の駐車場（歩25分）西御殿跡（歩15分）山頂

上り 1時間20分
下り 50分

犬戻し駒返しコース



第二登山口から更に県道を一五分位歩くと第三登山口の入口がある町営柚山荘の前に着く。

柚山荘の横から杉林の中へ入って行くと、谷川の周囲が整備された「川辺の広場」に着く。ここは十字路になつていて、右手は川辺の広場の散策路、直進は東御殿跡を経由して山頂に向う道、左手は犬戻し駒返しコースの登山口（第三登山口）である。左手の道へ入ると道幅は広いが、階段状の急坂を登る。

一〇分位で杉林を抜けると、赤松と雜木林の中の急登になる。階段混じりの長い急坂を、十字路から三

また、このコースの入口より少し下にある十字路から左手に進むと、山腹の遊歩道を通りて一五分程行くと、分岐点がある。直進すると東御殿跡へ、左へ下ると一五分位で第三登山口へ出る。又、この分岐から東御殿跡へ五分位登った所には左側に通行止めになつている廃道がある。さらに登つていると岩場を通り二〇分位で東御殿跡に着き、ひと頑張りすると山頂に着く。

参考コースタイム

東御殿跡近道の道標（歩35分）東御殿跡（歩10分）山頂

97年4月
上り 1時間5分
下り 40分

文殊堂コース



第二登山口の広場の右奥から林道に入ると、十字路がある。直進すると少し先で右手にジグザグの登山道がある。ここを一五分位登ると文殊堂に着く。文殊堂の左手から更に赤松林の尾根道を登つて行くと、二五分位で中腹の駐車場に着く。ここからさらくに尾根伝いの道を登つて行く。所々にお地蔵様が安置される。また、このコースの入口より少し下にある十字路から左手に進むと、山腹の遊歩道を通りて一五分程行くと、分岐点がある。直進すると東御殿跡へ、左へ下ると一五分位で第三登山口へ出る。又、この分岐から東御殿跡へ五分位登った所には左側に通行止めになつている廃道がある。さらに登つていると岩場を通り二〇分位で東御殿跡に着き、ひと頑張りすると山頂に着く。

参考コースタイム



○分程登ると、台地状の広場に着く。標識の柱だけ立つていて、ここから右手の尾根道を山頂に向うと、五分位で右手に東御殿跡の下の遊歩道に続く道があつたが、途中崖崩れのため通行止めになつていて、入らないこと。更に進んでいくと、「犬戻し駒返し」の岩場を通る。この岩には鉄製の梯子が一段になつて掛けられているので注意して登ろう。ここを過ぎても岩の露出した細い尾根道の急登が続く。梯子の所から三〇分程で山頂に着く。

参考コースタイム



柚山荘（歩10分）十字路（歩30分）台地（歩10分）

犬戻し駒返し（歩30分）山頂

97年12月
上り 1時間20分
下り 50分

社谷（やしろだに）コース



武生から国道三六五号線を南進し、今庄町湯尾を過ぎて日野川にかかる樅橋を渡つて左折する。国道四七六号線に入り約一・五キロ進むと今庄町社谷に

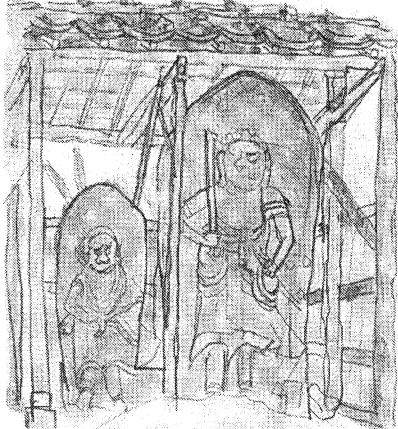
着く。左側に「近道・袖山城まで八〇〇メートル」の看板をすぎたら田倉川にかかる社谷橋を渡る。左手に集落の案内板と集会場がある。車はここに止めがある。ここから百メートル程進むと、正面に白山神社がある。神社の左手の法面に「ようこそ袖山城登山口」の大きな看板がある。拝殿の右から本殿の左側へ登つて行く。杉林の中をジグザグに五分程登ると、左側に簡易水道のタンクがある。更に数分登ると道は少しゆるくなり、暫くして山頂への直登が始まる。雨の後などは特に滑り易いので気をつけよう。落葉の季節の今は登る程に眺めは良くなる。右側にコンクリートのトイレらしき物があり、その上で犬戻し駒返しコースと合流すると、すぐに山頂に着く。

参考コースタイム

白山神社（※1時間）山頂
上り 1時間
下り 35分
97年12月



一
西山城
山頂
1996.12.20
著者
山頂



木山山

女性コース

文殊堂コース

犬廻し馬廻しコース

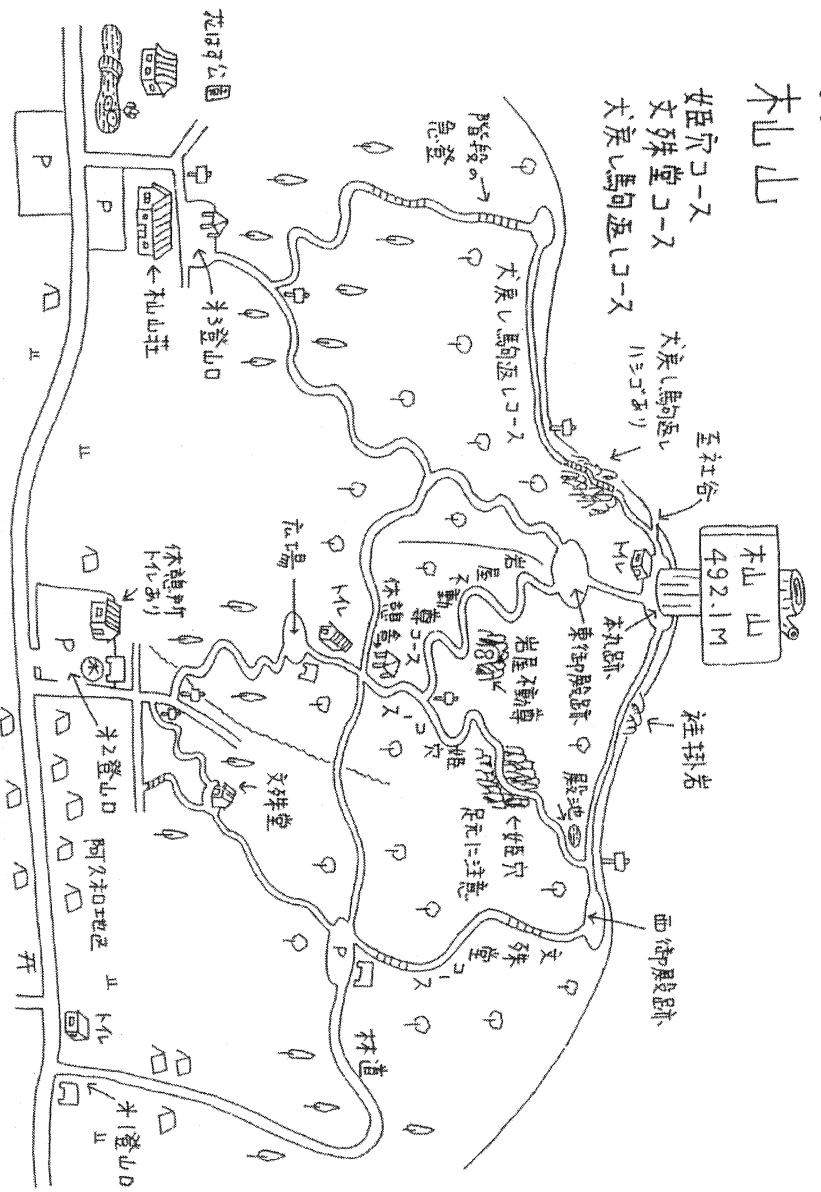
木山山
492.1m

注井谷

西御殿跡

注井谷

西御殿跡



木山山 社谷コース

木山山
492.1m

至文殊堂

至桂樹穴

至桂樹台

至急登

至桂樹台

木道ラン

木道山登山口

白山神社

至今庄インターチェンジ

国道365号線

木道山登山口

白山神社

木道山登山口

白山神社

木道山登山口

白山神社

倉谷川

至瀬戸

国道476号線

木道山登山口

白山神社

倉谷川

至瀬戸

国道476号線

木道山登山口

白山神社

木道山登山口

白山神社

木道山登山口

白山神社

木道山登山口

白山神社